

# 日本人のタトゥーへの偏見

社会班：山口竜輝 中田隆太郎 山本一平 佐小陽介

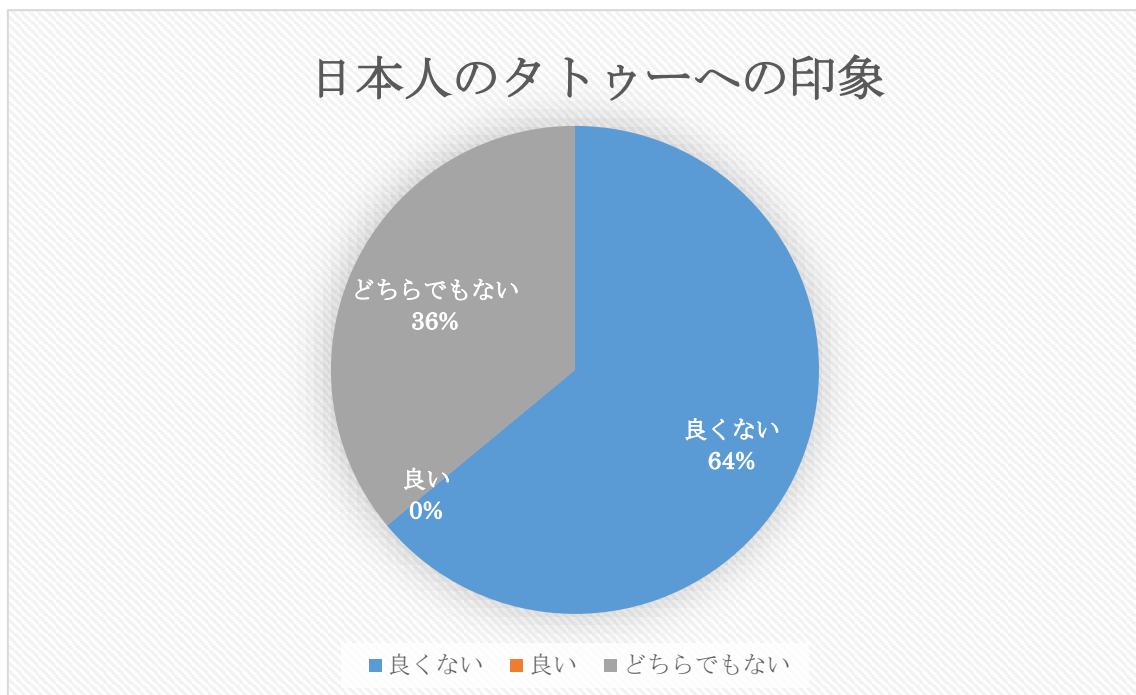
## 1. はじめに

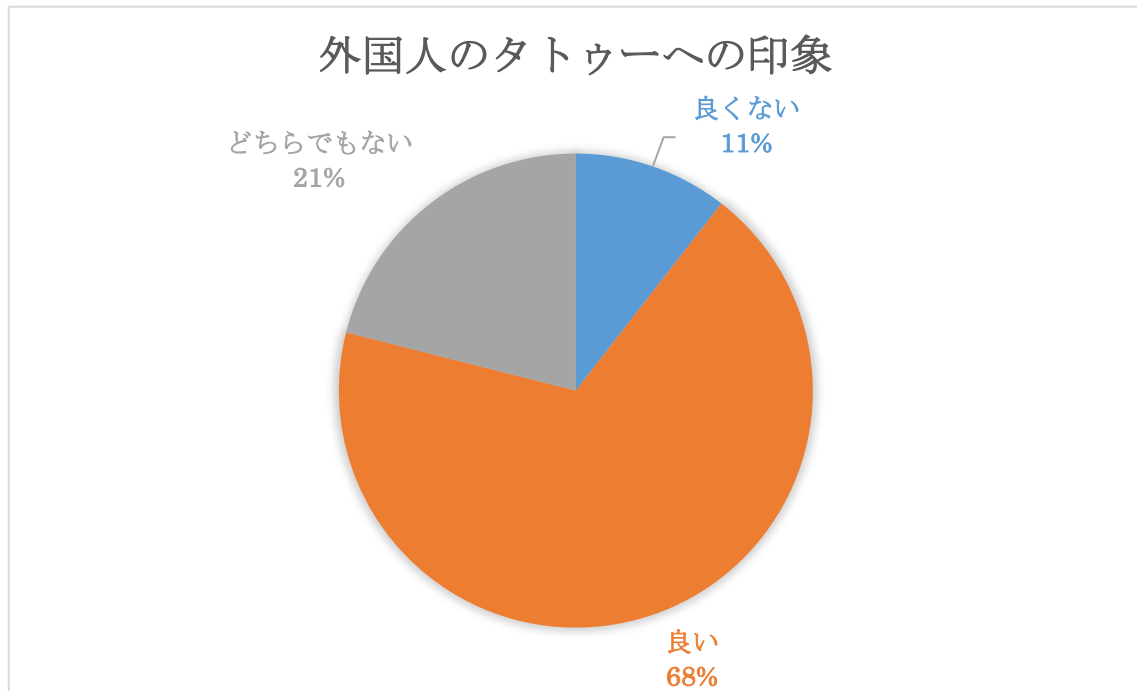
私たちは日本人のタトゥーへの偏見について研究しようと考えた。  
日本人がタトゥーに対してあまりよくない印象があることに着目し、外国人の方と日本人のタトゥーへの考え方の違いの原因を研究しようと考えた。

## 2. 研究概要

年齢・職業・タトゥーへの印象・現在タトゥーを入れているか・タトゥーを入れた理由・今後タトゥーをいれたいか・タトゥーが入っている人を避けるかという内容でアンケートを行った。日本人の約60名の方々には天王寺、難波の街頭で行い、外国人の方々5名に、西成区のホテル東洋さんに協力していただき、アンケートに答えていただいた。

## 3. アンケート結果と考察





グラフのように、予想通り外国人のほうがタトゥーに対し比較的肯定的であった。ほかの質問においても（タトゥーの人を避けるか、など）同じ傾向が見られた。例として

They probably have their own reasons.

訳：彼らはおそらく、彼らなりの理由がある。

Japanese are too conservative, open your mind.

訳：日本人は保守的になりすぎだ、心を開いてほしい。

It would be good for Japanese people to know tattoos are viewed differently in the west.

訳：欧米では、タトゥーについての見方が異なることを知ったほうが良い。

などの、タトゥーについて肯定的な意見が多く集まった。

それに対し日本人の中でも、アパレル関係の方はタトゥーに対し肯定的であった。理由として、この方々はタトゥーをしている人と接する機会があり、その人の内面を知ることによってタトゥーへの偏見がなくなっていると考えた。タトゥーをしている外国人の中には、日本人がタトゥーに対して悪い印象を持っていると知っていた人もいたが、多数の人が知らず、日本のプール施設でタトゥーをしているという理由で入館が難しくなったという人がいて、このことを差別だと主張していた。

私たちはそのようなことは人権的に許されるのかという疑問を持ち、考察した。

#### 4. 結論

グローバル化が進み、外国人観光客が増えている日本において、文化や宗教などでタトゥーを入れている人たちを、タトゥーが入っているという理由だけで差別するということはおかしいことであり、その人の内面を知ろうと努力する必要があると考えた。今日の日本において外国人観光客はとても大きな存在になっており、古くから日本ではびこっているタトゥーへの偏見をもう一度見直す必要がある。